

プロモーション活動

SECプロモーショングループリーダー 佐藤 康彦

例年実施しているセミナー開催や展示会出展に加え、地方自治体との連携セミナーや国際会議への参加など、普及領域の拡大を図ると共に、事業成果の効果的なプロモーションに注力した。本稿では、2016年度の事業成果の普及活動を紹介する。

1 SECセミナー開催

IPA/SECの事業成果をテーマにIPA職員や外部有識者によるセミナーを毎年度開催している。2016年度は、43回開催し、延べ参加人数は1,946名。海外または国内地域団体(行政機関)と連携するSEC特別セミナーは、4回開催し、延べ参加人数は691名と、多くの方に参加いただいた。

2 展示会出展

事業成果普及の一環として、組込み総合技術展(ETWest2016(7月7日～8日開催)、ET/IoT2016(11月16日～18日開催)、主催：一般社団法人組込みシステム技術協会)に出展。組込み系に関連する事業のパネル展示や資料配布、デモなどを実施した。「つながる世界の開発指針」や「組込みソフトウェア開発データ白書」「STAMP/STPA」への関心が高く、展示ブースは連日多くの来場者でにぎわった。

3月20日から24日までドイツ、ハノーバーで開催されたCeBIT2017にも出展。展示ブースで事業成果を紹介し、IoT分野での国際連携を視野に入れた普及活動を実施した。



写真1 ET/IoT2016 IPAブースの様子

3 カンファレンス／ワークショップ共催

IoTをテーマに経済産業新報社と共催した「IoTイニシアティ

ブ2016」(11月4日開催)をはじめ、「第1回STAMPワークショップ in Japan」(12月5日～7日開催)や「システムズエンジニアリング・公開ワークショップ」(12月19日開催)など、業界団体や大学などと連携したイベントも多数実施した。例年、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と共催しているクリティカルソフトウェアワークショップ(WOCS²: Workshop on Critical Software System)ではIPA理事長による基調講演のほか、「より良き未来のために見る・知る・学ぶ・考える」と題したテーマのパネルディスカッションを企画し実施した。

4 映像制作



写真2 動画「つながる世界の開発指針」の一場面

IPA/SECは、安全・安心が確保された信頼できる製品を開発するために「つながる世界の開発指針」を策定し、2016年3月に公開した。その内容を分かりやすくかみ砕き、実写ドラマ形式の動画を制作した。本動画は、セミナーや展示会の幕間で投影するほか、以下のIPA channel(YouTube)でも視聴が可能である。

http://youtu.be/wz90l_nwmko

5 まとめ

2017年度は、IPA第三期中期計画(2013～2017年度)の最終年度にあたり、中期計画の総括の年でもある。事業成果を活用する側に立ち、これまで以上に事業を分かりやすく伝える工夫と普及を図っていく。